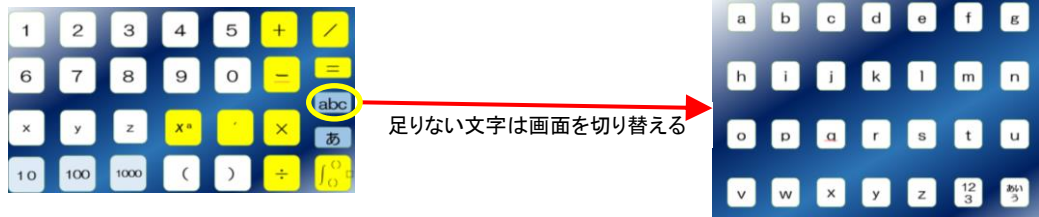


取組の内容・授業の様子(高等部普通課程 数学)



数学の問題にメインで使う画面

【目的】

- ・表出に課題のある生徒の回答にかかる時間を減らし学習に取り組み、学習理解度を把握し学習計画を立てる。
- ・数学の問題の解答に必要なボタンを配置し、なるべくボタンの数が少ない画面をメインで使用した。その中で足りない場合は別の画面で切り替えて補いながら使えるようにした。

【活動の様子】

- ・視線→音声出力により、問題の答えを教員に伝えることに使用し、回答に要する時間ロスが減り、学習に集中して取り組めるようになった。当初は注視時間(反応にかかる時間)を3秒で設定したが、生徒がなれてくると、短くして使用した。
- ・注視で反応するものと視線が通過するだけで反応するタイプと両方を使用して生徒の様子を観察した。

成果と今後の課題

生徒が問題を解く時間が短縮されたことにより、生徒の表出による取り組み、生徒の学習理解度が教員に伝わり、次の課題の選択、設定ができた。今後は、問題に応じてボタンを減らし、問題ごとに配置を変え、できるだけ選択しやすい画面にするように工夫してさらなる生徒の負担軽減を目指したい。ボタンの注視による反応と、視線通過による反応の両方を作成したが、今後の生徒の使用状況や慣れる様子を見てどちらを使うか再度検討が必要と思われる。